



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ミオカステーク鶴見フロンティア	階数	地上7F
建設地	横浜市鶴見区下野谷町一丁目3番1	構造	RC造
用途地域	準工業地域 準防火地域	平均居住人員	126 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2022年1月 竣工	評価の実施日	2020年10月12日
敷地面積	1,207 m <sup>2</sup>	作成者	山田建設一級建築士事務所
建築面積	611 m <sup>2</sup>	確認日	2020年10月14日
延床面積	3,268 m <sup>2</sup>	確認者	山田建設一級建築士事務所

外観パース等

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	構造の安定に加え、高効率の設備機器や有害物質の飛散の少ない建材を採用し、居住者にとって快適に生活出来る計画とした	その他 0
Q1 室内環境	シックハウス等建築基準法を満たし、居住者が安全に生活できる計画とした	Q2 サービス性能 性能表示基準において劣化対策等級3を取得し、躯体の機能維持に配慮した
Q3 室外環境(敷地内)		Q3 室外環境(敷地外) 外観は地域のイメージに沿った明るい色調とし、植栽を道路側・河川側に設け、環境に配慮した
LR1 エネルギー	潜熱回収型給湯器を採用し、効率性及び環境性に配慮した	LR2 資源・マテリアル キッチン・浴室に節水型の水栓を採用し、水やガスの省エネ性に配慮した
		LR3 敷地外環境 駐車場を戸数分、駐輪場を戸数の2倍、確保した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

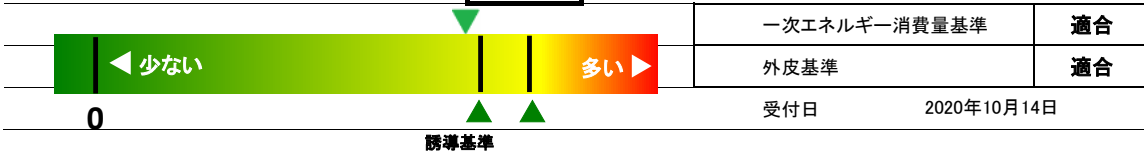
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **ミオカステーク鶴見フロンティア**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **14** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①全住戸断熱等級4

③BEI=0.86

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **3**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰コンクリート住宅性能評価 劣化対策等級3の仕様材料を使用。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7

ミオカステロー戯見フロンティア

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
							評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>									<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>			<b>3.0</b>	0.15	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.4</b>
1.1 騒音			3.0	0.50	-	-			-
1.2 遮音			<b>3.0</b>	0.50	<b>3.6</b>	1.00			-
1 開口部遮音性能			3.0	1.00	5.0	0.30			-
2 界壁遮音性能			3.0	-	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音			<b>3.0</b>	-	-	-			-
<b>2 温熱環境</b>			<b>3.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
2.1 室温制御			<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00			-
1 室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	-	-			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	3.0	1.00			-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	-	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	<b>3.0</b>	0.20	-	-			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	<b>3.0</b>	0.30	-	-			-
<b>3 光・視環境</b>			<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
3.1 屋光利用			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.1</b>	0.50			-
1 屋光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.60	2.0	0.50			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	5.0	0.30			-
3 屋光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50			-
1 屋光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	3.0	1.00			-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境	<b>3.0</b>	0.15	-	-			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	<b>3.0</b>	0.25	-	-			-
<b>4 空気質環境</b>			<b>3.0</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.4</b>
4.1 発生源対策			<b>3.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38			-
1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	-	3.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理			-	-	-	-			-
1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	-	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-
<b>Q2 サービス性能</b>			-	0.30	-	-			<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>			<b>3.1</b>	0.40	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	-	-			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	3.0	1.00			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	3.0	0.50			-
1.3 維持管理			<b>3.5</b>	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>3.1</b>	0.30	-	-			<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震			<b>3.0</b>	0.50	-	-			-
1 耐震性	防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数			<b>3.6</b>	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性			<b>2.8</b>	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 電気設備	防災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備	防災	⑮信頼性	2.0	0.20	-	-			-
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
3.1 空間のゆとり			-	-	<b>3.0</b>	0.50			-
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	3.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50			-
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	1.00	-	-			-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
ミオカステロ創見フロンティア

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-			2.2
1	生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	1.0	0.30	-	-			1.0
2	まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	3.0	0.40	-	-			3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-			2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	3.0	0.50	-	-			-
3.2	敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	2.0	0.50	-	-			-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-			3.5
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-			4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	4.0	0.20	-	-			4.0
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能	3.0	0.10	-	-			3.0
3	設備システムの高効率化		省エネルギー性能	4.8	0.50	-	-			4.8
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-			3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-			-
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	3.0	-	-	-			-
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	3.0	-	-	-			-
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-			-
4.1	モニタリング		省エネルギー性能	3.0	0.50	-	-			-
4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	3.0	0.50	-	-			-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-			3.2
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-			3.4
1.1	節水			4.0	0.40	-	-			-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-			-
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-			-
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-			-
2	非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-			3.2
2.1	材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-			-
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-			-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-			-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-			-
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-			-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.20	-	-			-
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-			3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-			-
3.2	フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-			-
1	消火剤			-	-	-	-			-
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-			-
3	冷媒			3.0	0.50	-	-			-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-			3.1
1	地球温暖化への配慮			3.8	0.33	-	-			3.8
2	地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-			2.5
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25	-	-			-
2.2	温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-			-
2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-			-
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
3	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-			-
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-			3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-			-
1	騒音			3.0	1.00	-	-			-
2	振動			-	-	-	-			-
3	悪臭			-	-	-	-			-
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-			-
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-			-
2	砂塵の抑制			3.0	-	-	-			-
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-			-
3.3	光害の抑制			3.0	0.20	-	-			-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-			-
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-			-

上記以外の重点項目									
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-		
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-		
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-		
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-		
1	化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-		
2	適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-		
3	結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-		
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-	-		